

私大協発第15711号
平成30年 7月23日

各大学 理事長 殿
大学 経理部（課）長

日本私立大学協会
会 長 大 沼 淳
大学経理財務研究委員会
担当理事 中 山 峰 男
委 員 長 佐 川 秀 夫

(印影印刷)

平成30年度（通算第55回）「大学経理部課長相当者研修会」開催の
ご案内および適任者のご派遣方お願いについて

盛夏の候、貴大学ますますご隆昌の趣、慶賀の至りに存じ上げます。

さて、本協会は、私立大学の経営管理における会計・経理業務ならびに財務の重要性に鑑み、「大学経理財務研究委員会」を常設して、学校法人会計制度ならびに学校法人経理の在り方・改善方策や、私立大学の財政安定化および財務の充実策等について、調査・研究を行うとともに、毎年度「大学経理部課長相当者研修会」を開催して参りましたことは、すでにご高承のことと存じます。

本年度の「大学経理部課長相当者研修会」につきましては、本協会平成30年度事業計画に基づき、大学経理財務研究委員会において準備を進めて参りました結果、来る10月17日（水）から19日（金）までの3日間にわたり、北九州市の「リーガロイヤルホテル小倉」会議室において、同封の「開催要項」のとおり開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。

今回は、①学校法人・関係法令等と学校法人会計基準、学校法人を巡る税制・税務実務、私立大学等経常費補助金一般補助の基礎的事項等の理解を目的とした解説を中心とする「基本研修」と、②大学改革や、私大経営の現状と今後の経営指導の方向性等をテーマとした講演による「総合研修」、③私大財政運営等の具体的なテーマについての「設定課題別研修」の三部構成で研修を行うことといたしました。

つきましては、貴大学におかれましては、何卒、本研修会開催の趣旨をご斟酌賜り、適任者をご派遣くださいますようお願い申し上げます。

参加申し込み等（参加・欠席・資料希望を含む）につきましては、研修会参加費のお振り込み終了後、本協会ホームページ（<http://www.shidaikyo.or.jp/>）の「加盟大学専用サイト」より、来る8月22日（水）までにお申し込みくださいますよう重ねてお願い申し上げます。

平成30年度(通算第55回)大学経理部課長相当者研修会 開催要項

主催 一般財団法人 私学研修福祉会
協力 日本私立大学協会

1. 開催の趣旨

本研修会は、私立大学の経営管理における会計・経理・財務の重要性に鑑み、それらに関する諸問題について共同研修を行い、その一層の充実と適正化を図るとともに、経理・財務部(課)長および相当者の資質向上に資することを目的としています。

2. 参加対象

- (1) 対象者 ① 各大学(法人)の経理・財務・施設等の部課長および相当する職にある者
② 各大学(法人)の財務担当理事・理事・事務局長

(参考) 本研修会では、加盟各大学における多様な学内事情等を考慮して、「部課長研修」と限定せずに「部課長相当者研修」としています。

相当する職にある者とは、部課長職(相当職)名にこだわらず、派遣される大学において、一定レベルの経理・財務知識をもった担当者、あるいは一定レベルの経理・財務知識を必要とする担当者と判断する場合、また、現在は部長・課長等の職ではないが早急に管理職レベルの経理・財務知識を必要とする者と判断する場合等を対象にしています。

- (2) 参加者数 1大学3名以内を原則とします。ただし、本研修会の準備運営委員は別とします。

3. 開催日時

自 平成30年10月17日(水) 13時開会
至 平成30年10月19日(金) 15時閉会

Aコース	【基本研修】から【総合研修】の終了まで 【2日間】 平成30年10月17日(水) 12時受付開始・13時開会～18日(木) 17時終了
Bコース	【総合研修】から【設定課題別研修】の終了まで 【2日間】 平成30年10月18日(木) 12時受付開始・13時開会～19日(金) 15時閉会
Cコース	【基本研修】から【設定課題別研修】の終了まで 【3日間】 平成30年10月17日(水) 12時受付開始・13時開会～19日(金) 15時閉会

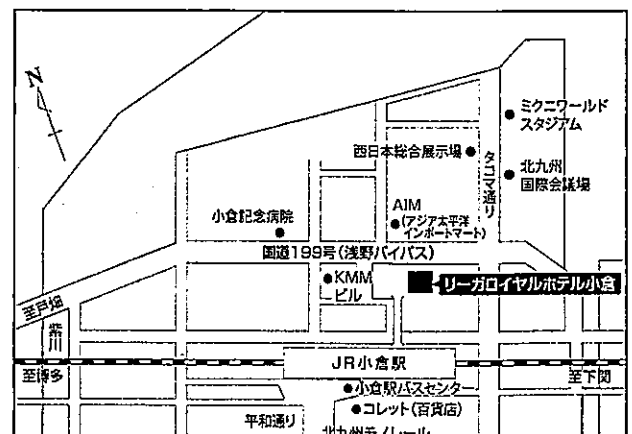
(注：情報交換会は18日「総合研修」後に開催。参加対象：参加申込みされた方。)

Aコース 【2日間】		Bコース 【2日間】		Cコース 【3日間】		
17日(水)	18日(木)	18日(木)	19日(金)	17日(水)	18日(木)	19日(金)
	基本研修		設定課題別		基本研修	設定課題別
基本研修	総合研修	総合研修	設定課題別	基本研修	総合研修	設定課題別

(注：上段は午前の研修、下段は午後の研修)

4. 研修会場

(会場) リーガロイヤルホテル小倉「会議室」
(所在地) 〒802-0001
福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-2
(電話) 093-531-1121 (代表)
(FAX) 093-521-2730
(e-mail) kokura@rihga.co.jp
(URL) <https://www.rihga.co.jp/kokura>
(交通) JR小倉駅新幹線口より空中回廊で直結、徒歩3分



5. 研修日程・課題

4頁以降の「日程（基本研修：11頁～、設定課題別研修：16頁～）」をご参照ください。

6. 「研修会参加費」および「宿泊費・旅費等の諸経費」について

(1) 研修会参加費（1人当たり）について

以下の参加者1人当たりの「研修会参加費」合計金額を、下記の口座宛にお振り込みください。

<内 訳>

	Aコース	Bコース	Cコース
①研修会参加費	10,000円	10,000円	10,000円
②情報交換会費(10/18)	9,000円	9,000円	9,000円
③その他運営関係費	12,000円	11,800円	13,700円
合計(研修会参加費)	31,000円	30,800円	32,700円

* 研修会参加費には、10月18日(木) A・Cコース参加者の昼食代、10月19日(金) B・Cコース参加者の昼食代が含まれています。

* 情報交換会に出席されない方は、合計金額から情報交換会費を引いてください。

* この他諸経費(旅費・宿泊費など)は、各自でご負担ください。

<振込先>

①銀行口座：三菱UFJ銀行「神田支店」 普通預金 No.1186469
②名義人：イッパツ・イナホジ・ソガ・カンジュウカシイ(シャ・イヨウカイ)
一般財団法人私学研修福祉会(私大協会口)

(お願い)

- ① 参加のお申し込みは、研修会参加費のお振り込み終了後にお願いいたします。
- ② 研修会参加費納入(研修会資料代納入)の際には、「振込日」「振込金額」「振込名義人」等をご入力ください。
- ③ 「振込手数料」は、各大学にてご負担くださいますようお願いいたします。
- ④ 「領収書」は、お振り込みいただいた各金融機関の指定する「振込金受取書」等をもってかえさせていただきます。

(2) 研修会参加費納入後の欠席の会費の取扱いについて

研修会参加費納入後に欠席の場合、研修会開始7日前(平成30年10月10日(水)17時)までに本協会事務局宛に電話等にてご連絡いただければ、研修会参加費(振込額)全額を返金いたします。それ以降に欠席のお申し出があった場合には、研修会参加費(振込額)を返金できませんので、あらかじめご了承ください。

(3) 宿泊のお申し込みについて

研修会期間中の10月17日・18日および研修会前日の10月16日について、本研修会参加者優先予約枠として、研修会場ホテル「リーガロイヤルホテル小倉」の他、近隣の「ステーションホテル小倉」の宿泊室を以下の通り特別料金にて手配しております。

「宿泊の申込方法・宿泊料金の支払方法について」は、各自、宿泊を希望されるホテルの別紙「ご宿泊申し込み用紙および回答書」をご確認の上、お申し込みください。

ホテル	ルームタイプ	料金(税・サ込)	締切日	お問い合わせ(担当)
リーガロイヤルホテル小倉	ツインルーム (1名様利用)	朝食付き 11,000円 素泊まり 9,300円	9月18日(火)	093-531-2058 (宿泊予約係)
	ツインルーム (2名様利用)	朝食付き 9,000円 素泊まり 7,300円		
ステーションホテル小倉	シングルルーム	朝食付き 9,800円	9月18日(火)	093-521-5031 (宿泊予約係)

7. 研修会資料代（欠席の場合のみ該当）について

欠席の場合で、資料の送付を希望される場合は、1セット当たり7,000円（送料含む）を、研修会の参加申し込みと同様に、あらかじめ上記の口座宛にお振り込みください。

研修会終了後、お申し込みいただいた大学宛にお送りいたします。

（お願い）

- ① 欠席の場合の研修会資料申し込みは、研修会資料代のお振り込み終了後にお願いいたします。
- ② 研修会参加費納入（研修会資料代納入）の際には、「振込日」「振込金額」「振込名義人」等をご入力ください。
- ③ 「振込手数料」は、各大学にてご負担くださいますようお願いいたします。
- ④ 「領収書」は、お振り込みいただいた各金融機関の指定する「振込金受取書」等をもってかえさせていただきます。

8. 研修会の申し込み方法について

研修会参加費のお振り込み終了後、本協会ホームページ（<http://www.shidaikyo.or.jp/>）の「加盟大学専用サイト」より、お申し込みください。

加盟大学専用サイトへ入る“ログイン”の方法は、23頁「ログイン画面」をご確認ください。

また、“欠席の場合”および“欠席で資料送付を希望する場合”も同様に、本協会ホームページ「加盟大学専用サイト」より諸手続きをお願いいたします。

申し込み方法の詳細は、「加盟大学専用サイト」から『大学経理部課長相当者研修会申し込みの手順平成30年度版 [PDF]』をダウンロードの上、ご参照ください。

- ① 締切期日 平成30年8月22日（水）まで

（注） 準備の都合上、締切期日を過ぎてからの参加申し込みについては、研修会資料集の「参加者名簿」等に掲載されない場合がありますことをあらかじめご了承ください。

- ② お問い合わせ

日本私立大学協会「大学経理部課長相当者研修会」係 （担当）第2業務部 大島・石井
（TEL）03-3261-7049 （メール）keiriken@shidaikyo.or.jp

*（問い合わせ時間） 月曜日～金曜日 9時～17時【原則】

9. 事前アンケートについて

※基本研修3班、設定課題別研修A～E班にお申し込みの方は、24頁「事前アンケートご協力のお願い」をご参照の上、「事前アンケート」をご提出ください。

10. 研修会の報告書作成について

本研修会では、研修成果をさらに広めるため、研修会終了後に研修会報告書（本協会ホームページ「加盟大学専用サイト」にも掲載予定）を刊行いたしますので、ご活用ください。

11. 個人情報の取り扱いについて

本協会は、個人情報を適切な安全対策のもと管理し、漏洩などの防止に努めます。また、法令などに基づき開示する場合を除き、ご本人の同意なく開示・提供はいたしません。

本協会は、当該研修会に参加申し込みをいただいた「個人情報」を本年度の本研修会の運営および今後の研修・研究活動に必要な範囲において利用させていただきます。

～注意事項～

○全体研修・班別研修中の録音・録画・撮影は、原則禁止とさせていただきます。

○研修会場内の空調管理は行いますが、各自、衣類等で調整できるようご準備ください。

○本協会では、平成30年5月1日（火）から平成30年10月31日（水）までの期間、地球温暖化防止および節電対策として、職員の夏季の軽装化を実施しています。

その一環として、研修会等でも「ノーネクタイ、ノー上着」の軽装化を実施いたしますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

平成30年度(通算第55回)大学経理部課長相当者研修会 日程(総括表)

会場：リーガロイヤルホテル小倉		日本私立大学協会(大学経理部課長相当者研修会準備運営委員会)	
第1日目：10月17日(水)	第2日目：10月18日(木)	第3日目：10月19日(金)	
9:00 (10:00～12:30) 準備運営委員会	(9:00～12:00) - 3時間 - 途中、小休憩を含む ○前日に引き続き班別研修 1班：学校法人会計基準のあらまし1 2班：学校法人会計基準のあらまし2 3班：学校法人における税務実務の留意点 4班：私立大学等経常費補助金一般補助の仕組み	(9:00～12:00) - 3時間 - 途中、小休憩を含む 【設定課題別研修】 I. 班別研修 <解説・事例発表等とディスカッションによる研修> [実務対応型課題] A班：学校法人会計基準の現状と決算の留意点 B班：経常費補助金・会計検査院検査関係課題 [政策討議型課題] C班：収入増加方策・支出効率化方策課題 D班：私立大学財政・経営の充実と強化 E班：学校法人の財政運営課題	
12:00 (12:00～13:00) - 60分 - ◎Aコース・Cコース参加者の受付 【基本研修】 (13:00～13:20) - 20分 - 一、開会：岡田 誠 事務局次長 二、挨拶：佐川秀夫 委員長 三、オリエンテーション：事務局 (13:20～14:10) - 50分 - I. 学校法人・関係法令等に関する解説 解説者：瀬田高央 委員 (14:10～14:30) - 20分 - 会場移動 (14:30～17:00) - 2時間30分 - 途中、小休憩を含む II. 班別研修 <スクーール形式による解説・演習・事例による研修> 1班：学校法人会計基準のあらまし1 2班：学校法人会計基準のあらまし2 3班：学校法人における税務実務の留意点 4班：私立大学等経常費補助金一般補助の仕組み	(12:00～13:00) - 60分 - ◎屋食(Aコース・Cコース参加者) 【総合研修】 (13:00～13:20) - 20分 - 一、開会：小出秀文 常務理事・事務局長 二、挨拶：中山峰男 担当理事 三、オリエンテーション：事務局 (13:20～14:30) - 70分 - I. 私学振興上の諸情勢と当面する重要課題(仮題) 報告・解説者：日本私立大学協会 常務理事・事務局長 小出秀文 (14:30～14:45) 休憩 - 15分 - (14:45～15:45) - 60分 - II. 講演「崇城大学の将来像実現に向けた改革の取り組みについて」(仮題) 講師：崇城大学 理事長・学長 中山峰男 担当理事 (15:45～16:00) 小休憩 - 15分 - (16:00～17:00) - 60分 - III. 講演「私立大学を取り巻く諸課題と今後の展望について～私大経営の現状と今後の経営指導の方向性～」(仮題) 講師：文部科学省 高等教育局私学部参事官 井上陸子 氏	(12:00～13:00) - 60分 - ◎屋食 (13:00～15:00) - 2時間 - 途中、小休憩を含む ○午前引き続き班別研修 A班～E班 * 研修会に関するアンケートの記入・提出 * 各班別でまとめ、各会場にて解散 ◎閉会(各班別会場にて解散) 研修会終了 (15:15～15:30) - 15分 - 運営委員会	各コースの研修終了時のお願い アンケートのご提出：名札のご返却にご協力ください。 1. 【基本研修】、【総合研修】、【設定課題別研修】それぞれの研修終了後に、「アンケート」をご提出ください。 2. 各コースの研修終了後、研修会場を退出する際には「名札」をご返却ください。
17:00 第1日目研修終了(夕食は各自自由)	(17:00～17:30) - 30分 - 会場移動・休憩 (17:30～19:00) - 90分 - ◎情報交換会(立食形式、Aコース参加者「基本研修」とB・Cコース参加者「設定課題別研修」ごとのテーブルを川意しています。) 第2日目研修終了		
19:00			

Aコース：基本研修・総合研修(1泊2日研修)

Bコース：総合研修・設定課題別研修(1泊2日研修)

Cコース：基本研修・総合研修・設定課題別研修(2泊3日研修)

平成30年度（通算第55回）大学経理部課長相当者研修会 日程（予定）

準備運営委員会

10月17日（水）

10:00～10:45

会場：リーガロイヤルホテル小倉
4階「サファイア」

主催：一般財団法人私学研修福祉会

協力：日本私立大学協会

期間：平成30年10月17日（水）～19日（金）

会場：リーガロイヤルホテル小倉

（所在地）福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-2

（TEL）093-531-1121（代表）

（FAX）093-521-2730

（URL）<https://www.rihga.co.jp/kokura>

Aコース〔2日間〕

17日（水）	18日（木）
	基本研修
基本研修	総合研修

Bコース〔2日間〕

18日（木）	19日（金）
	設定課題別
総合研修	設定課題別

Cコース〔3日間〕

17日（水）	18日（木）	19日（金）
	基本研修	設定課題別
基本研修	総合研修	設定課題別

（注：情報交換会は18日「総合研修」後に開催。参加対象：参加申込みされた方。）

第1日目 10月17日（水）

<運営委員控室：3階「梅」（13:00～17:00）>

<場所：4階「ロイヤルホール」入口前ロビー>

12:00	◎Aコース・Cコース参加者の受付 名札・資料を配付します。
13:00	
13:00	【基本研修】 <会場：4階「ロイヤルホール」> 私立大学が、教育・研究の充実および特色化と財政の持続的安定を図るためには、財政基盤の確立と適正な経理処理は欠かせない課題です。 基本研修では、学校法人を取り巻く関係法令等に関する解説をはじめ、学校法人会計基準による適正な会計処理や学校法人を巡る税制・税務実務の留意点および主要な収入源泉である経常費補助金一般補助についての研修を行います。 基本研修は、初任の部長・課長等、あるいは早急に管理職レベルの経理・財務知識を必要とする人、または一定レベルの経理・財務知識を必要とする担当者等を対象に解説を中心とするプログラムを実施します。
	一、開 会 日本私立大学協会事務局次長 岡 田 誠
	二、挨拶 大学経理財務研究委員会委員長 佐 川 秀 夫 文化学園大学 顧問
	三、オリエンテーション（日程、お願い等） 事 務 局
13:20 (50分)	1. 学校法人・関係法令等に関する解説 日本国憲法はもちろん、教育基本法、学校教育法、私立学校法、私立学校振興助成法など私立学校職員として知っておくべき関係法令は多く、内容も私学経営全般にわたっています。 本年度は、本研修会のテーマに則し、私たちの業務に身近な経理財務に関係する法令を中心に解説します。 解説者：大学経理財務研究委員会 瀬 田 高 央 委員 (神奈川大学 管財部長)
14:10	
14:10 (20分)	会場移動
14:30	

11. 班別研修

Aコース・Cコースの参加者は、出席する班を1つ選んでください。

諸準備の関係から研修会当日の班の変更には応じられませんので、あらかじめご了承ください。

＜班編成＞ *詳細は、基本研修の『研修日程予定・研修概要』をご参照ください。

班	編成テーマ
1	学校法人会計基準のあらまし1 〈会場： 〉
2	学校法人会計基準のあらまし2 〈会場： 〉
3	学校法人における税務実務の留意点 講 師：公認会計士・税理士 佐々木 正 氏 〈会場： 〉
4	私立大学等経常費補助金一般補助の仕組み 〈会場： 〉

注) 会場については、研修会当日の配付資料によりお知らせいたします。

途 中
小休憩

17 : 00

第1日目終了

※夕食は各自でお召し上がりください。

<運営委員控室：3階「梅」(9:00～19:00)>

9:00 }	II. 班別研修 スクール形式による解説・演習等を前日(第1日目:17日)に引き続き、同じ班編成(班区分、運営委員)、同じ会場で後半の研修プログラムを実施します。 12:00		<会場：各会議室>
12:00 }	◎昼食(Aコース・Cコース参加者) *各会場で参加者全員にお弁当を準備します。	◎Bコース参加者の受付 名札・資料を配付します。	
13:00 }	<場所：4階「ロイヤルホール」入口前ロビー>		
13:00 }	【総合研修】 司会：近藤伊佐夫 委員(明星大学 常任理事)		<会場：4階「ロイヤルホール」>
13:20 (70分)	I. 私学振興上の諸情勢と当面する重要課題(仮題) 報告・解説者：日本私立大学協会 常務理事・事務局長 小出秀文		
14:30 小休憩			
14:45 (60分)	II. 講演「崇城大学の将来像実現に向けた改革の取り組みについて」(仮題) 講師：崇城大学 理事長・学長 中山峰男 担当理事		
15:45 小休憩			
16:00 (60分)	III. 講演「私立大学を取り巻く諸課題と今後の展望について ～私大経営の現状と今後の経営指導の方向性～」(仮題) 講師：文部科学省 高等教育局私学部参事官 井上睦子氏		
17:00 (30分)	会場移動		
17:30			

17:30	◎情報交換会（立食形式）	<会場：3階「エンパイアルーム②③」>
}		
}		
}	【お願い】名札をつけて、ご集合ください。	
}		
}		
}	司会：木谷義勝 委員（熊本学園大学 総務部経理課長）	
}		
}		
}	○ 会場内は、Aコース参加者「基本研修」とBコース・Cコース参加者「設定課題別研修」ごとのテーブルを設営しています。	
}	出席された班（基本研修）、または出席される班（設定課題別研修）のテーブルにお集まりください。	
}		
}	○ 「基本研修」の各テーブルには、解説・演習等をご担当いただいた運営委員が着いています。	
}	研修後のご不明な点等の解決に少しでもお役立てください。	
}		
}	○ 「設定課題別研修」の各テーブルには、ご担当いただく運営委員、講師の方々に着いていただきます。	
}	各大学の個別問題の解決や翌日の意見交換を少しでも有効なものにさせていただく機会としてください。	
}		
}	○ 有効な名刺交換の機会として活用してください。	
19:00	研修会終了後、各大学へ戻られた後に、日常的な話題等についてはすぐに相互の連絡がとれ情報交換や意見交換ができ、問題解決が図れるような友好関係を築く機会としてください。	

第2日目終了

9:00

【設定課題別研修】(午前の部)

設定課題別研修では、私大財政運営等の具体的な共通課題について、加盟各大学における問題解決の一助とするため、下記の5つの設定テーマ区分により、個別テーマの留意点や関係課題などを掘り下げて研修します。原則として、参加者相互の討議により進行する形式の「班別研修」です。5つの設定テーマ区分を「実務対応型」と「政策討議型」に分類しています。

解説・事例発表等とディスカッションによる班別研修

Bコース・Cコース参加者は、出席する班を1つ選んでください。

諸準備の関係から研修会当日の班の変更には応じられませんので、あらかじめご了承ください。

<会場>

	班	設定テーマ	会場
実務対応型	A	学校法人会計基準の現状と決算の留意点	階
	B	経常費補助金・会計検査院検査関係課題	階
政策討議型	C	収入増加方策・支出効率化方策課題	階
	D	私立大学財政・経営の充実と強化	階
	E	学校法人の財政運営課題	階

注) 会場については、研修会当日の配付資料によりお知らせいたします。

<班編成> *詳細は、設定課題別研修の『研修日程予定・研修概要』をご参照ください。

班	設定テーマ (講師・事例発表者)
A	学校法人会計基準の現状と決算の留意点 講師：日本公認会計士協会 学校法人委員会 副委員長 岩瀬 弘典 氏
B	経常費補助金・会計検査院検査関係課題 講師：日本私立学校振興・共済事業団 助成部 補助金課長 荒谷 泉 氏
C	収入増加方策・支出効率化方策課題 講師：日本私立学校振興・共済事業団 助成部 寄付金課 課長補佐 猪股 賢一 氏
D	私立大学財政・経営の充実と強化 講師：日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 私学情報室 主幹 高野 陽子 氏 経営支援室 主幹 鍋田 卓矢 氏
E	学校法人の財政運営課題 講師：桜美林大学教授・日本福祉大学学園参与 篠田 道夫 氏 発表者：西畑 一哉 委員 (二松学舎大学 常任理事、企画・財務部長)

途中
小休憩

12:00

12:00 ◎昼 食

*各会場で参加者全員にお弁当を準備します。

<会 場>

班	会 場
A 1	階
A 2	階
A 3	階
A 4	階
B	階
C	階
D	階
E	階

注) 会場については、研修会当日の配付資料によりお知らせいたします。

13:00 【設定課題別研修】(午後の部)

途中
小休憩

15:00 ◎閉 会

*班ごとに運営委員によるまとめの後、研修会についてのアンケートにご協力いただき、
班別会場にて解散となります。
「名札」のご返却、「アンケート用紙」のご提出をお願いします。

研修会終了

運営委員会 15:15~15:30

平成30年度 基本研修 特徴とポイント (総括表)

趣旨・目的	1 班：学校法人会計基準のあらまし 1	2 班：学校法人会計基準のあらまし 2	3 班：学校法人における税務実務の留意点	4 班：私立大学等経常費補助金一般補助の仕組み
	簿記の基本や仕訳などの解説と演習および学校法人会計基準の基本的な項目の解説を行うことを目的としています。	学校法人は、学校法人会計基準に従い会計処理を行います。計算書類を作成することとなっています。その過程において、何故予算制度、中期財政計画が重要なのか、財務三表で何をみるのかを解説します。また、基本金の意義と制度の趣旨、基本金明細表の作成等での留意点など、基本金の知識を整理し、理論と実務を結びつけることに重点を置いた解説を行います。	本協会の事業計画「IV 大学財政基礎の充実と強化」の税制の在り方に基づき、税制に関する研修を行います。経理財務担当者ならびに税務実務を担当されている方に基本的な税制および税務実務は、国税から地方税まで広範囲に及び、複雑かつ難解な点が多いことから、この班は、学校法人の税務全般について理解を深めることを目的とし、特に留意すべき点を中心に講師から解説をいただきます。	私立大学において収入の主要な柱である、経常費補助金一般補助に関する制度と計算の仕組みを正しく理解し、補助金関係事務の適切な執行を図るための解説と補助金算出のための演習を通して経常費補助金の理解を進めます。
対象者	初級レベル 経理・財務経験の極めて浅い方、学校法人会計基準になじみが薄い方。 演習は初歩的な内容とし、解説も学校法人会計基準の基本から説き起こし、学校法人の計算体系および帳簿や計算書の概要を把握してもらう程度に留めます。	中級レベル 学校法人での決算・予算編成などの業務に携わってまだ経験の浅い方、今後携わる予定のある方。学校法人で立场上、学校法人会計基準の基本的な理解を必要とする方。	初級・中級レベル 学校法人の経理財務担当者、税務実務を担当されている方および責任者の方。	初級・中級レベル 新任の管理職者や新しく補助金担当となった方などに向けた経常費補助金の基本的事項にかかる研修です。
研修方法	スクール形式 (講習形式) 本研修オリジナルのテキストを使用します。	スクール形式 (講習形式) 解説および質疑応答を行います。	スクール形式 (講習形式) 参加者から提出された「事前アンケート」での質問・ご意見を参考に、講師による解説を行います。 (お願い) 参加者には、学校の税務に関する「事前アンケート」のご協力をお願いいたします。	スクール形式 (講習形式) 1日目・2日目を通して私学事業団が公表する「私立大学等経常費補助金取扱要領・同配分基準平成30年3月」による補助制度の解説と「平成30年度事務担当者資料の補助金配分基準額計算表4-1～4-4」を演習例題とした実例による一般補助額計算の演習を組合せながら行います。 (お願い) 参加者は、一般補助額計算の演習のため「電卓」をご準備ください。
研修概要【1日目】	1 解説と演習：簿記・仕訳の基礎	1 解説：予算の重要性和と中期財政計画について 2 解説：財務三表の見方について	1 解説「学校法人における税務実務の留意点」	1 解説と演習：私立大学等経常費補助金一般補助の制度と仕組み ：実例による一般補助金計算 電卓を使用します。
【2日目】	2 解説：学校法人会計基準の概要 3 解説：計算書類の概要と取引事例	3 解説：基本金の概要について 4 解説：基本金の実務について (事例を中心に) 5 質疑応答・各解説者からの補足説明	1 解説「学校法人における税務実務の留意点」 (第1日目に引き続き)	2 解説と演習：私立大学等経常費補助金一般補助の制度と仕組み ：実例による一般補助金計算 電卓を使用します。

1 班	学校法人会計基準のあらまし 1
-----	-----------------

(趣旨・目的) 簿記の基本や仕訳などの解説と演習および学校法人会計基準の基本的な項目の解説を行うことを目的としています。

(対象者) **初級レベル**

経理・財務経験の極めて浅い方、学校法人会計基準になじみが薄い方。
演習は初歩的な内容とし、解説も学校法人会計基準の基本から説き起こし、学校法人の計算体系および帳簿や計算書の概要を把握してもらう程度に留めます。

(研修方法) スクール形式(講習形式)により、本研修オリジナルのテキストを使用します。

(運営委員) 小柳 敦 委員(東北福祉大学 財務課長) *解説者
加藤 友和 委員(中部学院大学 学院本部財務部長) *司会
大田 欣久 委員(大阪商業大学 法人本部財務課長) *解説者
本西 亜弥 委員(近畿大学 財務部経理課長)
大江 俊司 委員(大手前大学 総合企画部次長) *解説者
木谷 義勝 委員(熊本学園大学 総務部経理課長)

(研修日程)

10月17日(水)	研修概要：第1日目(午後)
14:30 (5分)	○ 第1日目開会：趣旨説明、研修目標、運営方法等 司会・進行：加藤友和 委員
14:35 (130分)	1 解説と演習：簿記・仕訳の基礎 解説者：大田欣久 委員 (骨子) 簿記の基礎からはじめ、資金収支取引を中心に、取引事象の仕訳やその諸書類への現れ方や見方の基礎について、解説と演習を行います。 扱う取引などの内容は、極めて初歩的なものとします。
途中 小休憩	
16:45 (15分)	○ 質疑応答
17:00	○ 第1日目閉会：翌日の確認等 司会：加藤友和 委員
10月18日(木)	研修概要：第2日目(午前)
9:00 (5分)	○ 第2日目開会：運営方法説明等 司会・進行：加藤友和 委員
9:05 (60分)	2 解説：学校法人会計基準の概要 解説者：小柳 敦 委員 (骨子) ①学校法人会計、②学校法人会計基準の特色、③基本金 学校法人会計基準の基本を解説します。
10:05 (10分)	○ 休憩
10:15 (90分)	3 解説：計算書類の概要と取引事例 解説者：大江俊司 委員 (骨子) ①計算書類の概要、②具体的な取引例の計算書類への現れ方 について解説します。
	○ 質疑応答
11:45 (15分)	○ 基本研修閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い *「研修会についてのアンケート用紙」に感想を記入し、運営委員に提出してください。
12:00	
12:00 (60分)	◎ 昼食：お弁当を準備します。
13:00	－休 憩・会場移動－

基本研修終了

2 班	学校法人会計基準のあらまし 2
-----	-----------------

(趣旨・目的) 学校法人は、学校法人会計基準に従い会計処理を行い、計算書類を作成することとなっています。その過程において、何故予算制度、中長期財政計画が重要なのか、財務三表で何を見るのかを解説します。また、基本金の意義と制度の趣旨、基本金明細表の作成等での留意点など、基本金の知識を整理し、理論と実務を結びつけることに重点を置いた解説を行います。

(対象者) **中級レベル** 学校法人での決算・予算編成などの業務に携わってまだ経験の浅い方、今後携わる予定のある方。学校法人で立場上、学校法人会計基準の基本的な理解を必要とする方。

(研修方法) スクール形式(講習形式)での解説および質疑応答を行います。

(運営委員)	徳田 守 副委員長 (金沢工業大学 常任理事・財務部長)	*解説者
	齋藤 佳之 委員 (東京電機大学 経理部長)	*解説者
	近藤 伊佐夫 委員 (明星大学 常任理事)	*司会
	瀬田 高央 委員 (神奈川大学 管財部長)	*解説者
	岡 畑 満 孝 委員 (中部大学 法人事務局財務部長)	*解説者

(研修日程)

10月17日(水)	研修概要：第1日目(午後)
14:30 (5分)	○ 第1日目開会：趣旨説明、研修目標、運営方法等 司会・進行：近藤伊佐夫 委員
14:35 (50分)	1 解説：予算の重要性と中長期財政計画について 解説者：瀬田高央 委員 ①予算の重要性、②中長期財政計画
15:25 (15分)	○ 休憩
15:40 (70分)	2 解説：財務三表の見方について 解説者：徳田 守 副委員長 ①-1 資金収支計算書、①-2 活動区分資金収支計算書、②事業活動収支計算書、 ③貸借対照表
16:50 (10分)	○ 質疑応答・各解説者からの補足説明 第1日目閉会：翌日の確認等 司会：近藤伊佐夫 委員
17:00	
10月18日(木)	研修概要：第2日目(午前)
9:00 (5分)	○ 第2日目開会：運営方法等 司会・進行：近藤伊佐夫 委員
9:05 (70分)	3 解説：基本金の概要について 解説者：齋藤佳之 委員 学校法人会計の中で最も難解であると言われている基本金について、制定の理由、第1号～第4号の各基本金の説明、減価償却との関係および基本金の取崩しまで、事例等を使ってわかりやすく解説します。
10:15 (15分)	○ 休憩
10:30 (70分)	4 解説：基本金の実務について(事例を中心に) 解説者：岡畑満孝 委員 第1号基本金から第4号基本金までの基本金組入額を算出し、基本金明細表の作成過程について、事例を解説します。
11:40 (10分)	5 質疑応答・各解説者からの補足説明 司会：近藤伊佐夫 委員
11:50 (10分)	○ 基本研修閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い *「研修会についてのアンケート用紙」に感想を記入し、運営委員に提出してください。
12:00	
12:00 (60分)	◎ 昼食：お弁当を準備します。
13:00	－ 休憩・会場移動－

基本研修終了

3 班	学校法人における税務実務の留意点
-----	------------------

(趣旨・目的) 本協会の事業計画「IV. 大学財政基盤の充実と強化」の税制の在り方に基づき、税制に関する研修を行います。
経理財務担当者ならびに税務実務を担当されている方に基本的な税制および税務に関する研修を実施します。税制および税務実務は、国税から地方税まで広範囲に及び、複雑かつ難解な点が多いことから、この班は、学校法人の税務全般について理解を深めることを目的とし、特に留意すべき点を中心に講師から解説をいただきます。

(対 象 者) **初級・中級レベル**

学校法人の経理財務担当者、税務実務を担当されている方および責任者の方。

(研 修 方 法) スクール形式(講習形式)で、参加者から提出された「事前アンケート」でのご質問・ご意見等を参考に、講師による解説を行います。

(お 願 い) 参加者には、学校の税務に関する「事前アンケート」のご協力をお願いしました。

(講 師) 公認会計士・税理士 ^{ささき} 佐々木 ^{ただし} 正 氏 (公認会計士 佐々木正事務所)

【講師紹介】略 歴

学 歴 : 昭和48年3月 早稲田大学第一商学部卒業

資 格 : 公認会計士、税理士

職 歴 : 昭和48年4月～ 東京国税局管内税務署勤務

昭和51年3月～ 中央共同監査法人(現あずさ監査法人)勤務

平成8年9月～ 公認会計士佐々木正事務所(現)

平成10年4月～ 双葉監査法人代表社員(現)

業 務 : 学校法人監査、金融商品取引法監査その他の法定監査、税務等

その他 : 平成20年～平成23年 日本公認会計士協会学校法人委員会副委員長

著 書 : 「わかる つかえる 学校法人の税務実務 ポイントとQ&A」(税務経理協会)

(運 営 委 員) 小谷野 理 委員 (大妻女子大学 財務センター財務グループ課長) *司会
西 畑 一 哉 委員 (二松学舎大学 常任理事、企画・財務部長)
相 原 安 夫 委員 (武蔵野音楽大学 理事・評議員)
川 合 直 貴 委員 (大阪芸術大学 法人本部経理部長)
中 川 幸 広 委員 (純真学園大学 法人事務局法人本部長)

(研 修 日 程)

10月17日(水)	研修概要：第1日目(午後)
14:30 (10分)	○ 第1日目開会：趣旨説明、研修目標、運営方法等 司会・進行：小谷野理 委員
14:40	1 解説「学校法人における税務実務の留意点」 講師：公認会計士・税理士 佐々木 正 氏
-途中休憩- (10分)	(1) 学校法人の消費税
16:55 17:00	○ 第1日目閉会：翌日の確認等 司会：小谷野理 委員
10月18日(木)	研修概要：第2日目(午前)
9:00 (5分)	○ 第2日目開会：運営方法等 司会・進行：小谷野理 委員
9:05	1 解説「学校法人における税務実務の留意点」 (第1日目に引き続き)
-途中休憩- (10分)	(2) 学校法人の法人税(収益事業の税制等) (3) 寄付金・譲渡所得等関係税制 (4) 学校法人における源泉所得税 (5) その他の税目の実務ポイント
11:45 (15分)	○ 基本研修閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い *「研修会についてのアンケート用紙」に感想を記入し、運営委員に提出してください。
12:00	
12:00 (60分)	◎ 昼食：お弁当を準備します。
13:00	一休 憩・会場移動一

基本研修終了

4 班	私立大学等経常費補助金一般補助の仕組み
-----	---------------------

(趣旨・目的) 私立大学において収入の主要な柱である、経常費補助金一般補助に関する制度と計算の仕組みを正しく理解し、補助金関係事務の適切な執行を図るための解説と補助額算出のための演習を通して経常費補助金の理解を進めます。

(対 象 者) **初級・中級レベル**

本班は、新任の管理職者や新しく補助金担当となった方などに向けた経常費補助金の基本的事項にかかる研修です。

(研修方法) スクール形式により、1日目・2日目を通して私学事業団が公表する『私立大学等経常費補助金取扱要領・同配分基準 平成30年3月』による補助制度の解説と『平成30年度事務担当者資料の補助金配分基準額計算表4-1～4-4』を演習例題とした実例による一般補助額計算の演習を組合せながら行います。

(お 願 い) 参加者は、一般補助額計算の演習のため“**電卓**”をご準備ください。

(運営委員) 中 島 和 彦 副委員長 (多摩美術大学 総務部長) *司会・解説者
 松 下 良 春 委員 (北海学園大学 法人経理部長) *司会・解説者
 余 語 弘 委員 (名城大学 財政部財政参事役) *解説者
 衣 松 美 隆 委員 (広島経済大学 法人部長) *解説者
 山 口 久吉郎 委員 (徳島文理大学 経理部副部長) *解説者

(研修日程)

10月17日(水)	研修概要：第1日目(午後) [研修の形式：スクール形式による講習研修]
14:30 }	○ 第1日目開会：趣旨説明、研修目標、運営方法等 司会：松下良春 委員
1 }	1 解説と演習：私立大学等経常費補助金一般補助の制度と仕組み ：実例による一般補助金計算
1 }	①経常費補助金の概要
1 }	②補助金の減額等
1 }	③経常的経費の範囲
1 }	④配分基準
一途中 小休憩— (適宜)	電卓を使用します。
1 }	⑤補助対象専任教職員数の算定 <演習問題 NO. 1>
1 }	⑥補助対象学生数の算定 <演習問題 NO. 2>
1 }	⑦教員に係る補助金配分額計算表 <演習問題 NO. 3>
1 }	⑧学生に係る補助金配分額計算表 <演習問題 NO. 4>
16:50 (10分)	○ 第1日目閉会：翌日の確認等
17:00	
10月18日(木)	研修概要：第2日目(午前) [研修の形式：スクール形式による講習研修]
9:00 (5分)	○ 第2日目開会：運営方法等 司会：中島和彦 委員
9:05 (75分)	2 解説と演習：前日に引続き
1 }	電卓を使用します。
10:20 —小休憩— (15分)	⑨専任教員及び学生の経費に係る補助金配分額配点表 <演習問題 NO. 5>
1 }	⑩第一次調整・第二次調整・学校配点→補助額の算出 <演習問題 NO. 6>
1 }	⑪第一次調整・第二次調整・補助額の決定 <演習問題 NO. 7>
10:35 (75分)	⑫学校ごとに計算される補助項目 <演習問題 NO. 8>
1 }	⑬別冊資料によるおさらい
11:50 (10分)	○ 基本研修閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い
12:00	*「研修会についてのアンケート用紙」に感想を記入し、運営委員に提出してください。
12:00 (60分)	◎ 昼食：お弁当を準備します。
13:00	—休 憩・会場移動—

基本研修終了

【実務対応型課題】

	A班：学校法人会計基準の現状と決算の留意点	B班：経常費補助金・会計検査院検査関係課題
趣旨・目的	学校法人会計基準や決算上の留意点について、業務上の留意点を中心に、講師から適切なアドバイスを受けることにより、学校法人会計における問題点を解消し理解を深めることを目的としています。 本研修では、日本公認会計士協会の学校法人委員会から講師をお迎えし、会計処理・決算の留意点を中心に「学校法人会計の適正な処理と決算の留意点」というテーマでご講演いただきます。 また、ディスカッションでは参加者アンケートを基に情報交換を行い、日常業務の疑問点の解消を目指します。	事業団の方に「会計検査院の实地検査の状況」、「不当事項等ではいかなかったが、過去において会計検査院検査や事業団の事前調査で問題となった事例を中心に、より現場の話に直結した内容」にもよる解説を行っていただきます。 事前にご提出いただく『参加者アンケート』で講師への質問や解説希望事項により、質疑応答およびディスカッションを行います。また、『参加者アンケート』に寄せられた「参加者間で討議したい事項・内容」や「他大学の取組状況」等についてディスカッションを行うことで補助金等に関する理解を深め、関係事務の適正化を図ることを目的としています。
研修方法	【午前の部】講師から講演形式により、会計基準の諸課題、会計処理及び決算上の留意点について解説を行うとともに、参加者アンケートの中から質問事項の回答を行います。 【午後の部】少人数のグループで、現行の学校法人会計基準内での、決算処理等の会計処理上の諸問題や日常業務の疑問点を中心に、参加者アンケートを基に情報交換を行います。	【午前の部】グループディスカッション形式の座席配置にて研修を行います。内容は事業団担当者による課題解説の後、『参加者アンケート』による質問事項の解説および事業団の方も含めたディスカッションを行います。 【午後の部】参加者のみで『参加者アンケート』にて提出された参加者間で討議したい事項を中心に経常費補助・文科省等直接補助・科研費等の日頃の業務に関して意見交換を行います。
対象者	経理業務に精通している部課長並びに、それに準ずる方。(実務者を対象とします。)	補助金業務の担当者に留まらず広く補助金や検査院検査に関する知識を必要とする方。
班編成	【午前の部】参加者全員によるスクーール形式。 【午後の部】少人数のグループ編成で、口の字形式。	【午前の部】グループディスカッション形式の座席配置 【午後の部】グループディスカッション形式の座席配置
事前お願い	研修会参加申込の際に「参加者アンケート」の作成をお願いします。	参加者には、『参加者アンケート』の協力をお願いします。 なお、講師の方への個別相談・名刺交換等については、研修日程の時間の都合上、午前の部の研修時間内にてお願いします。
研修概要 【午前の部】	1 解説「学校法人会計基準の現状と決算の留意点」 ～会計処理・決算の留意点を中心に、解説いたします。～	1 解説「会計検査院の实地検査状況について」 2 「参加者アンケート」による質問事項に対する解説およびディスカッション
【午後の部】	2 ディスカッション	3 参加者ディスカッション

【 政策討議型課題 】

趣旨・目的	C班：収入増加方策・支出効率化方策課題	D班：私立大学財政・経営の充実と強化	E班：学校法人の財政運営課題
	まず、収入増加方策の一助として寄付金募集の現状等について、講師より解説をいただきます。その後、解説内容と参加者から提出された「事前アンケート」を基にグループによるディスカッションや資料交換を行い、収入増加方策・支出効率化方策課題についての認識と理解を深めて自校で積極的に提言・活用されることを目的とします。	私立大学を取り巻く環境は大きく変化しており、またそれに対する迅速な対応が求められています。私立大学が存続していくためには、今一度建学の精神に基づき教育と研究の充実を図ること、そして将来の計画を具体化し、経営と財政基盤の安定を確実にするためにいくことが重要です。財政を担当するスタッフとして財務分析を活用して財務状況を的確に判断し、自学の状態を提供できる「ものさし」となる財務諸表を使った分析についての理解を深め、少しでも高めることを目的としています。本研修は、日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センターの講師による解説で、財務を支える職員として「財務比率の分析力」を高め、日々業務の中で現状を把握するために活かしていただけるようにすること。経営の安定と財政基盤の充実に向けての取り組みの事例を紹介してもらいます。参加各校と情報の共有と充実策を考え、各大学が抱え持つ課題の参考になればと考えています。	少子化の進展等学校法人を取り巻く環境は大きく変化しており、最近では長期的な展望の下に解決を迫られる課題が増えています。E班では、中長期経営計画の立案と改善等を切り口として、それぞれの学校法人で諸課題をどう取り組み、解決しているのかを研究しようと考えています。この班では、参加者の一人一人が質問者であり、講師であるとの考えです。「事前アンケート」から抽出された各法人固有のあるいは共通のテーマ、質問事項を基に運営委員と参加者間相互による情報交換等を行います。
研修方法	講師による解説・質疑応答等による研修（受講形式）、その後、参加者間の「ディスカッション」による研修（ワークショップ形式）を実施します。	【午前の部】日本私立学校振興・共済事業団の私学経営情報センターから講師を招き、財務分析を含む財務状況の把握に必要な手法及び私立大学の経営を取り巻く現状と今後の課題の解説を行っていただきます。【午後の部】ワークショップ形式での参加者間の「ディスカッション」による研修を実施する予定にしています。	ワークショップ形式による事例研究研修とディスカッション研修を行います。
対象者	学校運営にかかる収支改善の課題を強く感じている方。積極的なディスカッション（資料交換を含む）ができる方。	学校法人の運営に関わる方を対象に、問題意識をもち、その改善策に取り組み意欲がある方で、積極的に意見交換、情報交換等に参加できる方。	学校法人の運営全般に問題意識をもち、積極的に討議・意見交換・情報交換・資料交換等に参加できる方。
班編成	規模別等のグループを5テーブル編成します。	【午前の部】スクール形式で行います。 【午後の部】グループを編成して行います。	2チームを編成して行います。
事前お願い	「事前アンケート」の作成（入力）をお願いします。	研修会中入力の際に、「事前アンケート」の作成をお願いします。	参加者には、「事前アンケート」のご協力をお願いします。
研修概要 【午前の部】	1 解説「寄付金収入による安定的な財源確保に向けて」 ～寄付金募集の現状～ 2 参加者間の「ディスカッション」による研修 （収入増加方策・支出効率化方策）	1 私立大学の経営を取り巻く現状と今後の課題について 2 私立大学財政・経営の充実と強化	1 解説「私立大学における中長期計画の現状と問題点」 2 解説についての質疑応答 3 発表「今後の中長期計画の在り方」
【午後の部】	3 午前に引き続き続き、参加者間の「ディスカッション」による研修	3 事前アンケートの集計結果報告 4 参加者間の「ディスカッション」による研修	4 参加者ディスカッション

A 班	学校法人会計基準の現状と決算の留意点	実務対応型課題
-----	--------------------	---------

(趣旨・目的) 学校法人会計基準や決算上の留意点について、業務上の留意点を中心に、講師から適切なアドバイスを受けることにより、学校法人会計における問題点を解消し理解を深めることを目的としています。

本研修では、日本公認会計士協会の学校法人委員会から講師をお迎えし、会計処理・決算の留意点を中心に「学校法人会計の適正な処理と決算の留意点」というテーマでご講演いただきます。

また、ディスカッションでは参加者アンケートを基に情報交換を行い、日常業務の疑問点の解消を目指します。

(研修方法) 午前の部は、講師から講演形式により、会計基準の諸課題、会計処理及び決算上の留意点について解説を行うとともに、参加者アンケートの中から質問事項の回答を行います。

午後の部は少人数のグループで、現行の学校法人会計基準内での、決算処理等の会計処理上の諸問題や日常業務の疑問点を中心に、参加者アンケートを基に情報交換を行います。

(対象者) 経理業務に精通している部課長並びに、それに準ずる方。(実務者を対象とします。)

(班編成) 午前の部は、参加者全員によるスクール形式で行い、午後の部は、少人数のグループ編成でロの字形式で行います。

(事前お願い) 研修会参加申込の際に「参加者アンケート」の作成をお願いします。

(講師) 日本公認会計士協会 学校法人委員会 副委員長 岩瀬 弘典 氏
(公認会計士、有限責任あずさ監査法人 パートナー)

【講師紹介】略 歴

学 歴 : 明治大学商学部卒業

資 格 : 公認会計士

職 歴 : 平成 6 年 4 月 朝日監査法人(現 有限責任あずさ監査法人) 勤務

平成 20 年 6 月 有限責任あずさ監査法人 パートナー就任(現)

その他 : 日本公認会計士協会学校法人委員会副委員長(平成 29 年 8 月から)

(運営委員) 徳 田 守 副委員長(金沢工業大学 常任理事・財務部長)
小谷野 理 委員(大妻女子大学 財務センター財務グループ課長)
齋 藤 佳 之 委員(東京電機大学 経理部長)
加 藤 友 和 委員(中部学院大学 学院本部財務部長)
本 西 亜 弥 委員(近畿大学 財務部経理課長)

(研修日程)

10月19日(金)	研修概要：第3日目
9:00 (5分)	【全体研修：スクール形式】 会場：共通 ○ 午前の部開会：趣旨説明、研修目標、運営方法等 (司会：本西亜弥 委員)
9:05 (60分)	1 解説「学校法人会計基準の現状と決算の留意点」 ～会計処理・決算の留意点を中心に、解説いたします。～
10:05 休憩(10分)	講師：日本公認会計士協会 学校法人委員会 副委員長 岩瀬 弘典 氏
10:15 (80分)	
11:35 (20分)	一質疑応答一 解説及び参加者アンケートで提出された講師への質問について回答していただきます。
11:55 (5分)	○ 午前の部閉会：午後の確認等
12:00 (60分)	○ 会場移動：午前の部終了後、移動をお願いします。
13:00	◎ 昼 食：午後の各グループ別会場にお弁当を準備します。
13:00 (50分)	【グループ研修：ロの字形式】 会場：分割 一少人数グループ編成一 ○ 午後の部開会 (司会：各グループの担当委員)
13:50 休憩(10分)	2 ディスカッション
14:00 (50分)	
14:50 (10分)	○ 研修会閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い * 研修会についてのアンケート用紙に感想を記入し、運営委員に提出してください。
15:00	

研修会終了 ※お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

B 班	経常費補助金・会計検査院検査関係課題	実務対応型課題
-----	--------------------	---------

(趣旨・目的) この班は、事業団の方に「会計検査院の实地検査の状況」、「不当事項等まではいかなかったが、過去において会計検査院検査や事業団の事前調査で問題となった事例を中心に、より現場の話に直結した内容」による解説を行っていただきます。

事前にご提出いただく『参加者アンケート』で講師への質問や解説希望事項により、質疑応答およびディスカッションを行います。また、『参加者アンケート』に寄せられた「参加者間で討議したい事項・内容」や「他大学の取組状況」等についてディスカッションを行うことで補助金等に関する理解を深め、関係事務の適正化を図ることを目的としています。

(研修方法) 午前の部より、グループディスカッション形式の座席配置にて研修を行います。内容は事業団担当者による課題解説の後、『参加者アンケート』による質問事項の解説および事業団の方も交えてのディスカッションを行います。

午後の部は、参加者のみで『参加者アンケート』にて提出された参加者間で討議したい事項を中心に経常費補助・文科省等直接補助・科研費等の日頃の実務に関して意見交換を行います。

(対象者) 補助金業務の担当者に留まらず広く補助金や検査院検査に関する知識を必要とする方。

(事前お願い) 参加者には、『参加者アンケート』の協力をお願いします。

なお、講師の方への個別相談・名刺交換等については、研修日程の時間の都合上、午前の部の研修時間内にてお願いします。

(講師) 日本私立学校振興・共済事業団 助成部 補助金課長 荒谷 泉 氏

(運営委員) 佐川 秀夫 委員長 (文化学園大学 顧問)
 松下 良春 委員 (北海学園大学 法人経理部長)
 岡畑 満孝 委員 (中部大学 法人事務局財務部長)
 大江 俊司 委員 (大手前大学 総合企画部次長)
 衣松 美隆 委員 (広島経済大学 法人部長)

(研修日程)

10月19日(金)	研修概要：第3日目
9:00 (5分)	○ 午前の部開会：趣旨・目的説明、スケジュール、委員紹介、講師紹介等 司会：岡畑満孝 委員
9:05 (90分)	1 解説「会計検査院の实地検査状況について」 講師：日本私立学校振興・共済事業団 助成部 補助金課長 荒谷 泉 氏
10:35 (20分)	○ 休憩
10:55 (60分)	2 「参加者アンケート」による質問事項に対する解説およびディスカッション 参加者からの質疑・講師からの補足説明 講師：日本私立学校振興・共済事業団 助成部 補助金課長 荒谷 泉 氏
11:55 (5分)	○ 午前の部閉会：午後の部確認等
12:00 (60分)	◎ 昼食：お弁当を準備します。
13:00	
13:00 途中 適宜 休憩	○ 午後の部開会 3 参加者ディスカッション * 『参加者アンケート』で寄せられたテーマをもとに、経常費補助金や会計検査院検査に関する こと等、業務上発生した“質問”や“他大学の取組事例照会”等をディスカッションします。
14:50 (10分)	○ 研修会閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い * 「研修会についてのアンケート用紙」に感想を記入し、運営委員に提出してください。
15:00	

研修会終了 ※お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

C 班	収入増加方策・支出効率化方策課題	政策討議型課題
(趣旨・目的)	まず、収入増加方策の一助として寄付金募集の現状等について、講師より解説をいただきます。その後、解説内容と参加者から提出された「事前アンケート」を基にグループによるディスカッションや資料交換を行い、収入増加方策・支出効率化方策課題についての認識と理解を深めて自校で積極的に提言・活用されることを目的とします。	
(研修方法)	講師による解説・質疑応答等による研修(受講形式)、その後、参加者間の「ディスカッション」による研修(ワークショップ形式)を実施します。	
(対象者)	学校運営にかかる収支改善の課題を強く感じている方。 積極的なディスカッション(資料交換を含む)ができる方。	
(班編成)	規模別等のグループを5テーブル編成します。	
(講師)	日本私立学校振興・共済事業団 助成部 寄付金課 課長補佐 猪股 賢一 氏	
(運営委員)	中 島 和 彦 副委員長 (多摩美術大学 総務部長) 小 柳 敦 委員 (東北福祉大学 財務課長) 瀬 田 高 央 委員 (神奈川大学 管財部長) 大 田 欣 久 委員 (大阪商業大学 法人本部財務課長) *司会者	
(事前お願い)	C班参加者の皆様は「事前アンケート」の作成(入力)をお願いします。	
(研修日程)		
10月19日(金)	研修概要：第3日目	
9:00 (5分)	○ 午前の部開会：趣旨説明、研修目標、運営方法、講師紹介等 (司会：大田欣久 委員)	
9:05 (60分)	1 解説 「寄付金収入による安定的な財源確保に向けて」 ～寄付金募集の現状～ 講師：日本私立学校振興・共済事業団 助成部 寄付金課 課長補佐 猪股 賢一 氏	
〃	〃	
〃	〃	
〃	〃	
〃	〃	
〃	〃	
10:05 (10分)	○ 休憩	
10:15 (45分)	2 参加者間の「ディスカッション」による研修(収入増加方策・支出効率化方策) 委員の問題提起および「事前アンケート」等で提出された①参加者間での「意見交換希望事項」、②各大学の取組状況等への「照会事項」を中心に意見・情報交換(資料交換を含む)を行います。	
〃	〃	
〃	〃	
〃	〃	
11:00 (10分)	○ 休憩	
11:10 (45分)	〃	
〃	〃	
11:55 (5分)	○ 午前の部閉会：午後の確認等	
12:00 (60分)	◎ 昼食：お弁当を準備します。	
13:00 (60分)	○ 午後の部開会 (司会：大田欣久 委員) 3 午前に引き続き、参加者間の「ディスカッション」による研修	
14:00 -休憩-	〃	
14:10 (40分)	〃	
14:50 (10分)	○ 研修会閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い *「研修会についてのアンケート用紙」を記入し、運営委員に提出してください。	
15:00	〃	

研修会終了 ※お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

D 班	私立大学財政・経営の充実と強化	政策討議型課題
(趣旨・目的) 私立大学を取り巻く環境は大きく変化しており、またそれに対する迅速な対応が求められています。私立大学が存続していくためには、今一度建学の精神に基づき教育と研究の充実を図ること、そして将来の計画を具体化し、経営と財政基盤の安定を確実なものにしていくことが重要です。財政を担当するスタッフとして財務分析を活用して財務状況を的確に判断し、自学の状態を提供できる「ものさし」となる財務諸表を使った分析についての理解を深め、少しでも高めることを目的としています。 本研修は、日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センターの講師による解説で、財務を支える職員として「財務比率の分析力」を高め、日々業務の中で現状を把握するために活かしていけるようにすること。経営の安定と財政基盤の充実に向けての取り組みの事例を紹介してもらいます。 参加各校と情報の共有と充実策を考え、各大学が抱え持つ課題の参考になればと考えています。 (研修方法) 午前中は、日本私立学校振興・共済事業団の私学経営情報センターから講師を招き、財務分析を含む財務状況の把握に必要な手法及び私立大学の経営を取り巻く現状と今後の課題の解説を行っていただきます。 午後は、ワークショップ形式での参加者間の「ディスカッション」による研修を実施する予定にしています。 (対象者) 学校法人の運営に関わる方を対象に、問題意識をもち、その改善策に取り組む意欲がある方で、積極的に意見交換、情報交換等に参加できる方。 (班編成) 午前の部はスクール形式、午後の部はグループを編成して行います。 (事前お願い) 研修会申込入力の際に、「事前アンケート」の作成をお願いします。 (講師) 日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 私学情報室 主幹 ^{たかのようこ}高野陽子氏 日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 経営支援室 主幹 ^{ときたたくや}鴫田卓矢氏 (運営委員) 近藤伊佐夫 委員 (明星大学 常任理事) 余語弘 委員 (名城大学 財政部財政参事役) 川合直貴 委員 (大阪芸術大学 法人本部経理部長) 中川幸広 委員 (純真学園大学 法人事務局法人本部長) (研修日程)		
10月19日(金)	研修概要：第3日目	
9:00 (5分) 9:05 (75分) 10:20 (15分) 10:35 (80分) 11:55 (5分)	【全体研修】 ○ 午前の部開会：趣旨説明、研修目標、運営方法等 (司会：川合直貴 委員) 1 私立大学の経営を取り巻く現状と今後の課題について 講師：日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 私学情報室 主幹 高野陽子氏 ○ 休憩 2 私立大学財政・経営の充実と強化 講師：日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 経営支援室 主幹 鴫田卓矢氏 ○ 午前の部閉会：午後の確認等	
12:00 (60分)	◎ 昼食：お弁当を準備します。	
13:00 休憩 (10分) 14:55 (5分) 15:00	【グループ研修：ワークショップ形式】ーグループ編成ー ○ 午後の部開会 (司会：川合直貴 委員) 3 事前アンケートの集計結果報告 4 参加者間の「ディスカッション」による研修 午前の「解説」および「事前アンケート」の設問項目を中心に参加者間での意見・情報交換を行います。 ○ 研修会閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い * 「研修会についてのアンケート用紙」に感想を記入し、運営委員に提出してください。	

研修会終了 ※お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

E 班	学校法人の財政運営課題	政策討議型課題
-----	-------------	---------

(趣旨・目的) 少子化の進展等学校法人を取り巻く環境は大きく変化しており、最近では長期的な展望の下に解決を迫られる課題が増えております。

E班では、中長期経営計画の立案と改善等を切り口として、それぞれの学校法人で諸課題をどう取り組み、解決しているのかを研究しようと考えています。この班では、参加者の一人一人が質問者であり、講師であるとの考え方です。「事前アンケート」から抽出された各法人固有のあるいは共通のテーマ、質問事項を基に運営委員と参加者間相互による情報交換等を行います。

(研修方法) ワークショップ形式による事例研究研修とディスカッション研修を行います。

(対象者) 学校法人の運営全般に問題意識をもち、積極的に討議・意見交換・情報交換・資料交換等に参加できる方。

(事前お願い) 参加者には、「事前アンケート」のご協力をお願いします。

(講師) 桜美林大学教授
日本福祉大学学園参与
篠田 道夫 氏 (日本私立大学協会附置私学高等教育研究所研究員)

(運営委員) 西畑 一哉 委員 (二松学舎大学 常任理事、企画・財務部長)
相原 安夫 委員 (武蔵野音楽大学 理事・評議員)
山口 久吉郎 委員 (徳島文理大学 経理部副部長)
木谷 義勝 委員 (熊本学園大学 総務部経理課長)

(研修日程)

10月19日(金)	研修概要：第3日目
9:00 (5分)	○ 午前の部開会：趣旨説明、研修目標、運営方法等 (司会：山口久吉郎 委員)
9:05 (80分)	1 解説「私立大学における中長期計画の現状と問題点」 中長期計画を策定している私立大学の比率等 中長期計画策定の意義、中長期計画に織り込むべき内容 PDCAサイクルの実施方法 講師：桜美林大学教授 日本福祉大学学園参与 篠田 道夫 氏 (日本私立大学協会附置私学高等教育研究所研究員)
10:25 (15分)	2 解説についての質疑応答
10:40 (75分)	○ 休憩
11:55 (5分)	3 発表「今後の中長期計画の在り方」 中長期化計画を巡る動き 中長期計画策定におけるポイント 中長期計画事例 (二松学舎 2030 プラン) について PDCA サイクル実行の手順 KPI (Key Performance Indicator・重要業績評価指標) の用い方 発表者：西畑 一哉 委員
12:00 (60分)	○ 午前の部閉会：午後の確認等
13:00 (100分)	◎ 昼食：お弁当を準備します。
14:40 (20分)	○ 午後の部開会 (司会：山口久吉郎 委員)
15:00	4 参加者ディスカッション 2チームに分かれ、事前アンケートで寄せられた質問事項等についてのディスカッション、各校の事例紹介等。
	○ 研修会閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い * 「研修会についてのアンケート用紙」に感想を記入し、運営委員に提出してください。

研修会終了 ※お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

ログイン画面

1

加盟大学専用サイト ログイン

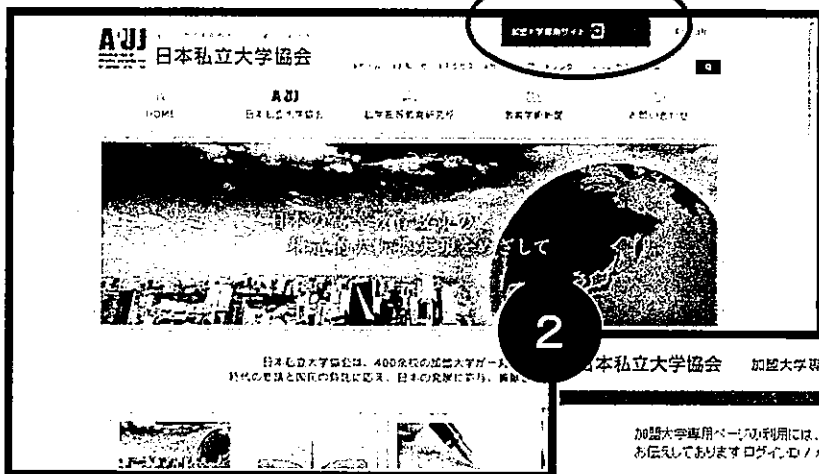
1

日本私立大学協会ホームページから、「加盟大学専用サイト」へログインします。

2

各大学のIDとパスワードを入力してください。

不明な場合は、事務局までメールにてお問い合わせください。
(secretservice@shidaikyo.or.jp)



2

日本私立大学協会 加盟大学専用サイト Association of Private Universities of Japan Information

加盟大学専用ページの利用には、ログインID / パスワードの入力が必要です。
お伝えしておりますログインID / パスワードをご入力ください。

ログインID:

パスワード:

[ID・パスワードのお問い合わせはこちら](#)

Copyright (c) Association of Private Universities of Japan 1999-2010 All rights reserved.

3

日本私立大学協会 加盟大学専用サイト

最新情報

- 2010.11.10 平成21年度私立大学等卒業生に対する就職内定状況調査結果について(2010.11.10)
- 2010.11.10 平成21年度私立大学等卒業生に対する就職内定状況調査結果について(2010.11.10)
- 2010.11.10 平成21年度私立大学等卒業生に対する就職内定状況調査結果について(2010.11.10)
- 2010.11.10 平成21年度私立大学等卒業生に対する就職内定状況調査結果について(2010.11.10)

ニュースコーナー

- ☐ 加盟大学ニュース
- ☐ 高等教育ニュース
- ☐ 審議会ニュース
- ☐ 協会本部ニュース
- ☐ 協会支部ニュース

各種手続き

- ☐ 研修会・協議会各種申込
- ☐ イベント掲載申請
- ☐ アンケート調査

各種データ

- ☐ 入学金・授業料の調査(私立大学・短期大学・専門学校)
- ☐ 平成21年度私立大学等卒業生に対する就職内定状況調査結果について(2010.11.10)

新入会のお知らせ(2010.4)

新理事長・新学長のお知らせ(2010.1~3)

文科省公表 平成21年度学校法人の財務情報等の公開状況に関する調査結果について(2010.1.18)

文科省公表 平成21年度大学等卒業生に対する就職内定状況調査について(2010.1.14)

新理事長・新学長のお知らせ(2009.9~11)

日本私立大学協会
〒102-0073
東京都千代田区九段北4-2-25
アルカディア市ヶ谷
(私学会館別館内9F)
TEL: 03(3261)7048
FAX: 03(3261)0769
Email: secretservice@shidaikyo.or.jp

グローバルサイン認定サイト
SSL secured
GlobalSign
クリックして検証

Copyright (c) Association of Private Universities of Japan 1999-2010 All rights reserved.

3

加盟大学専用サイトのトップページが開きましたら、「各種手続き」にある「研修会・協議会各種申込」をクリックします。

1

Association of Private Universities of Japan

～基本研修3班・設定課題別研修A～E班ご参加の皆様へ～
「事前アンケート」ご協力のお願い

基本研修3班・設定課題別研修A～E班ご参加の皆様には、研修を円滑かつ効果的に運営し、成果を高めるため、以下の要領により、回答票ファイル等をダウンロードの上、「事前アンケート」にご協力をお願い申し上げます。

1. 「回答票ファイル」等のダウンロード方法

- ① 本協会ホームページ内「加盟大学専用サイト」にログインしてください。
 - * ID・パスワードが不明な場合は、secretservice@shidaikyo.or.jp 宛にお問い合わせください。
- ② 各種手続き欄にある「アンケート調査」→「平成30年度（通算第55回）大学経理部課長相当者研修会 事前アンケート」の順にクリックし、該当する班の【事前アンケートご協力のお願い】および【回答票ファイル】をダウンロードしてください。

研修班名称	回答票ファイル名称
基本研修3班	学校の税務に関する「事前アンケート」
設定課題別研修 A班	「参加者アンケート」
設定課題別研修 B班	『参加者アンケート』
設定課題別研修 C班	「事前アンケート」
設定課題別研修 D班	財務分析についての「事前アンケート」
設定課題別研修 E班	「事前アンケート」

2. 提出方法

- ① 以下の送信先アドレス宛に、ご入力いただいた回答票ファイルを添付の上、ご送信ください。

送信先アドレス: keiriken@shidaikyo.or.jp（担当：石井 賢）

 - * 送信メールの件名には、必ず『該当する研修班名称「回答票ファイル名称」回答』とご入力ください。（ダウンロードした該当する班の「事前アンケートご協力のお願い」【提出方法】参照）
- ② 回答期限 平成30年8月22日（水）
 - * アンケート回答内容を取りまとめるため、期限にかかわらず、早めにご提出ください。
 - * 参加申し込み後、アンケート未回答の場合には、1回のみメールにてアンケート提出のお願いを送信します。

※対象：設定課題別研修A班～E班参加者各位 『事前返信資料』の送信について

- 平成30年9月中旬頃より、ご回答いただいた「事前アンケート」を取りまとめた『事前返信資料』を事務局から参加者各位へ送信します。
- 参加者各位は、事前返信資料をご確認の上、情報交換等に備えて、可能な範囲で参考資料等を準備していただき、当日の班別研修にご出席くださいますようお願い申し上げます。

【お問合せ先】

担 当：日本私立大学協会
第2業務部 大島廉士・石井 賢
電 話：03-3261-7049（業務部直通）
メー ル：keiriken@shidaikyo.or.jp